富士見台デイサービスセンター　ケアの見える化

60　代　　男性　　介護度4

課　題

・スプーンとフォークを用意しているが、手づかみで食べる。
・器が滑り、すくいづらい。

目的・目標

・スプーンとフォークを用いて食べられる。
・自身の力で残さず、最後まで食べ終える。

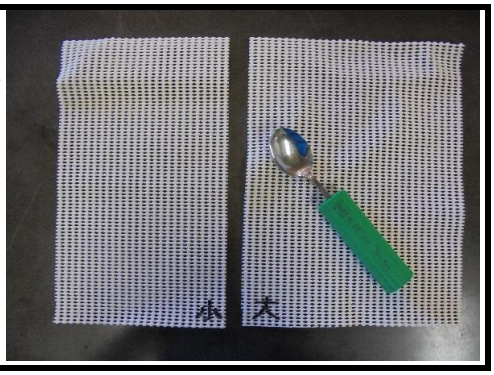
実施前

・手づかみで食べている。
・スプーンなどを使用しても、器が動いてしまう。

⇓

支援経過

・トレー上に滑り止めシートを敷く。
・スプーンとフォークにウレタンの柄を付ける。
・健側の左側にスプーンとフォークを置く。



⇓

実施後

・左手でスプーンまたはフォークを持ち、
手づかみをしなかった。
・器が滑らず、すくいやすくなった。